

事業の見直し(事業再検証)の予算反映状況

- ・将来にわたって質の高い行政サービスを提供するため、令和元年度から3年間ですべての事業の検証に取り組んでいます。
- ・令和元年度は95事業について、外部有識者で構成する行財政改革審議会からの検証結果に基づき、市民や市議会からの意見を踏まえ、事業の方向性を決めました。
- ・令和2年度予算への影響額は以下のとおりです。

事業見直しの状況(方向性)

廃止、一部廃止、休止した事業	17事業
手法、内容を改善した事業	74事業
拡充した事業	24事業

1つの事業で複数の見直し内容がある場合は、それぞれの項目に計上

令和2年度予算への影響額

(単位:千円)

事業廃止等に伴う減少額	59,559
-------------	--------

令和元年度当初予算との比較による額

主な事業の見直し内容と令和2年度予算への影響額

(単位:千円)

細事業名	方向性・見直し内容	令和2年度 予算影響額
競技スポーツ推進事業	全国大会等への出場激励金を廃止し、競技関係者へのより効果的な支援方法を検討。	1,150
国際化推進事業	姉妹都市であるポーリング・グリーン市とは、実質的な交流が図られる見込みがないため、姉妹都市を解消。	
在宅高齢者支援事業	介護保険制度においても在宅高齢者に対する支援を行っていることから、日常生活用具の給付は廃止、理美容サービスは令和2年11月の実施をもって廃止。 また、高齢者外出支援は利用者及び事業者への実態調査を行ったうえで見直しを実施。	115
障害者地域福祉生活支援事業	リフト付き寝台タクシー料金助成事業については、近隣市の状況や制度運用の観点から、上限額を設定。	4,315
	福祉施設通園費助成事業については、市内における事業所の整備が一定進んだことを踏まえ、対象者の見直しを実施。	5,437
住宅政策推進事業	親元近居助成制度を活用して定住・移住されるなど、一定の成果があったが、本助成制度によって本市への転入を決めたのかなど分析ができない部分もあり、本助成制度を廃止。	6,050
要保護・準要保護就学支援事業	準要保護に対する就学支援については、現行の生活保護基準を基礎とした見直しを実施。	12,993

市が交付している補助金のあり方については、ゼロベースで見直しを行い、令和3年度から新しい補助制度をスタートさせます。